

令和6年2月2日

まちづくり委員会資料

準用河川五反田川の整備等の
検討状況について

建設緑政局

準用河川五反田川の整備等の検討状況について

1 背景

- ・本市の河川は、全国的な整備水準である時間雨量50ミリ（3年に1回程度）の降雨に対応できる河川改修を進めており、令和5年4月1日現在での河川整備率は81%となっている。
- ・準用河川五反田川は、未改修となっている。
- ・令和5年度末に一級河川区間の五反田川放水路が運用開始することから、上流の準用河川区間について、整備等の検討を行うこととした。

2 検討範囲

準用河川区間 流路延長3,275m、流域面積6.45km²

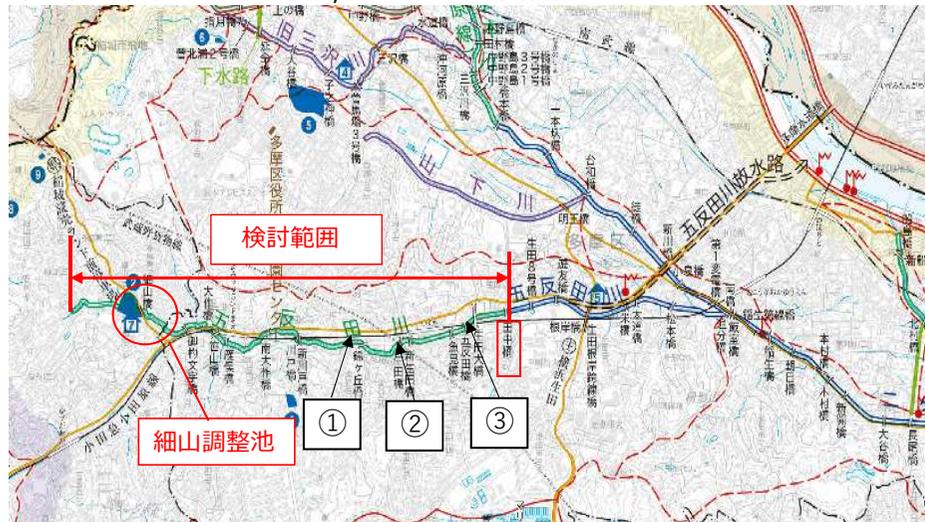


図 検討範囲



図 現地写真

3 整備等の検討状況について

- (1) 整備方針
時間雨量50ミリに対応する河川改修を行い、早期事業効果発現を目指す。
- (2) 現況と課題
五反田川沿川は、住宅地及び小田急小田原線が近接しているため、河道拡幅や掘削を行うことが困難である。
- (3) 対策及び概算事業費
課題を踏まえて、五反田川における水位上昇の抑制を図るため、五反田川の流速を向上させる対策及び細山調整池から五反田川への流出量を低減させる対策をとりまとめた。

ア 五反田川の対策

現況河道の流下能力が不足している区間において、護岸や橋梁部の粗度を改善することにより、流速を向上させる。（概算事業費 300,000千円）

護岸や橋梁部

延長358mについて、塗布等による表面処理



参照 靱性モルタルライニング工法

イ 細山調整池の対策

越流堤を嵩上げし、貯留量を増やすとともに、放流口を縮小することにより、五反田川への流出量を低減させる。（概算事業費 60,000千円）

越流堤

高さ6m⇒高さ7.4m
に嵩上げ

放流口

幅1.2m、高さ1.5m⇒幅1.2m、高さ0.8m
に縮小



(4) 事業スケジュール

令和6年度 詳細設計、令和7年度～8年度 改修工事